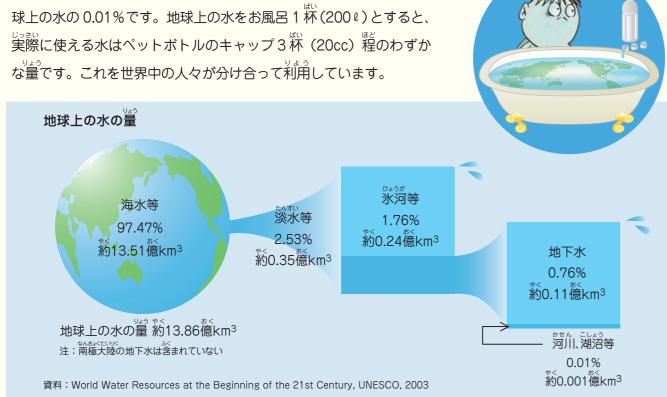
どうなる地球

STEP 2 データでみる環境問題



地球上の使える水は少ない

地球上にある水のほとんどは海水で、私たちが利用できる水は、地

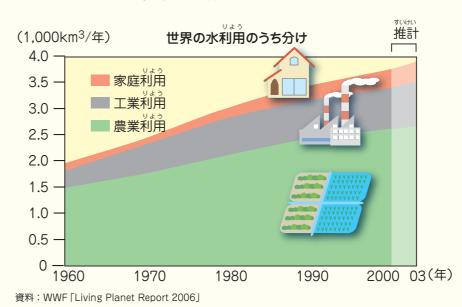


これだけ!?

水が使えなくなる

1960 年から 2000 年で世界の水の使用量は約2倍に増えました。 世界では、水資源の多い地域と少ない地域があり、水不足になやん でいる人がいます。

このまま人口が増え、発展が進むと、必要な水の量はさらに増えます。 また、地球温暖化によって干ばつや洪水などが増えて環境が大きく 変わると、安定した水資源を確保できなくなるおそれがあります。



T 人が1年間に必要な水の量は約 4,000m³ といわれています。1 年に 使える水の量が 1.700m3 未満の「水 ストレス」の状態の人は、2008年 には 20 億人にもなりました。また、 1年に使える水の量が1,000m3未 意く 億人にのぼります。

…ということらしいよ。 らしいね。 たいへん大変だね。

1 人当たり水資源量と人口 (2008) 水浴びも (m³/(人·年)) できなくなってしまったら 10万~ 14,140 お皿がかわいてしまう。 5万~10万 3万~5万 1万~3万 5,000~1万 水がないと 4,000~5,000 生きられないのは 3,000~4,000 403,823 人間も同じじゃ。 大変な問題じゃぞ。 1.700~3.000 1,685,868 | 「水ストレス」状態の人口: 1,000~1,700 約20億人 0~1,000 2,500,000(千人) 500,000 1,000,000 1,500,000 2,000,000

資料: FAO AQUASTAT データベース